

風のように

甘木教会



主任牧師：崔大凡

牧会委嘱牧師：竹田孝一

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。

ローマ信徒への手紙12:9～18

【説教要旨】

ローマ信徒の手紙の「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という言葉は有名です。

ここで注目したいのは、「共に」という言葉です。喜ぶ時も、泣くときも共にいるということです。それが私たちキリスト者の生き方であるということです。2026年度のキリスト教連盟の年主題は「主（主）イエスと共（とも）」にです。今年の福音書はマタイ福音書です。マタイの信仰は、「インマヌエル」という言葉で代表されるように、「主（主）イエスと共（とも）」ということです。

ブラジルの教会では、ポルトガル語で、信徒の集まりを示す教会をcominidadeと表し、組織的教会をigrejaと表していました。ここでいうComとは「共に」ということです。私たちは共に生きるものであるということです。

保育の現場では、「多様性」ということが大切になって言われています。違いを認め合い、ともに生きていくということです。

「共存」ということです。

「多様性」ということが言われるのは逆を言えば、喜びも、泣くこともcom「共に」生きるということが出来ない世界があるということです。共に生きるということが危機にあるということです。保育だけでなく、地球規模で課題に直面しているのが現在です。制度や経済的の大変化を起こし、問題を抱えて、深い苦しみの中で喘いでいます。また、大国同士が争い、互いにエゴを丸出しに平和が崩されています。世界の危機の中に私たちは生きています。しかし、私たちはここから目を背け、逃げてはいけません、出来ません。

「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」と言われたイエスさまのみ言葉を聞きたいのです。世界の中で喘ぎ、苦しんでいる中で、私たちも喘ぎ、苦しんでいます。自分の十字架会を背負って私たちは生きています。負っている自分の十字架から逃げることなく自分の十字架を背負う存在が、私たちであるということです。

先の教皇・フランシスコ教皇は、「どんな危機も、よい知らせを秘めています。それを聞くには、心の耳を澄まして、聴くことを知らねばなりません」との言葉を残しています。

この危機にあってこの世的な克服の知識を広く知ることも大切ですが何よりも「心の耳を澄まして、聴くこと」です。神の、イエス・キリストの言葉を聞くことです。そして、わたし（主・イエスさま）に従うことです。

こういうキリスト者・八木重吉の詩があります。

むつかしい路もありましょう。

しかし ここに確かな私に出来る路がある

救ってくださる信じ、わたしをなげだします。

それが、わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。と言うことです。

心の耳を澄まして、聴き、わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従った使徒パウロの言葉は、私たちの歩むべき道を教えてくれています。

「愛には偽りがあってはなりません。」、「兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。」、「霊に燃えて、主に仕えなさい。」、「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」、「あなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。」、「愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。」、「悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。」、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

森補佐司教は「人が一人では生きていけないことは、今も昔も変わりません。人は、他の人と触れ合い、包み合ってしか生きていけないのです。また、人の心をあたためて、生きていく希望を与えてくれるものは、結局は富でもなく、社会的な成功でもなく、人と人との心の響き合い、いのちといのちの触れ合いなのです。悲しみは悲しみとして、喜びは喜びとして共感し合う人と人とのつながり。私たちは今こそそれがが必要です。社会を救い、自分自身の救いにもあるのです。」

「共感」、「共に」が最も必要でありながら奪われている現実があります私の十字架を、社会の十字架を負って、死なない命を生き、主に従っている者は、喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く社会が生れるように、先のフランシスコ教皇が勧告したように

「課題は克服するためのものです。現実を直視し、しかし、喜びを失うことなく、大胆に希望に満ちて献身しましょう」と言われたようにいう希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りつつ、主イエスと共に神の愛をそれぞれの場所で伝えていくものとされていきましょう。「しゅ（主）イエスとともに（共）に」

牧師室の小窓からのぞいてみると

激変時代



AIについて、2冊、本を購入し、読んでいると共通することは、私たちが、大変化の激動な時代に入っているといわれている。今週、ビルゲイツ氏のホームページに、「人口知能（AI）時代への移行は人類史上最も激動の時代になる」と載せている。

「ゲイツ氏は過去の技術革新では数世代かけて人間の力が必要な雇用の創出が進んだのに対し、『AI は人間そのものを代替する』と指摘。政治や社会、経済が対応するために時間が必要だが、『地政学的や経済的な動機があまりにも強く、全速力で突き進む流れになっている』と懸念を示した。 また主に三つのリスクとして（1）雇用の喪失（2）AI の悪用で犯罪や偽情報の拡散、武器の生産が容易になること（3）AI 依存による人間関係の希薄化を挙げた。 一方で、ゲイツ氏はAI の利用で医療や低所得国の開発などに利点があるとも表明。健全な発展を促すため『国際的、国内で協力する枠組みを作ることが優先だ』と強調した。」（Yahoo!ニュース）と。今、AI と真剣に向かい合う時が来ている。「我が助けはいずかたより」（詩篇 121）

園長・瞑想？迷走記

先生たちの会話で、この暑さで、二学期から園庭で子どもたちは遊べるのだろうかと心配している。



夏恒例の園長先生の遊具のペンキ塗りが、今年はあまり出来なかった。この暑さである。そしてアメリカのイラン攻撃で石油製品のナフサが入りにくくなり塗装用品が高騰化したこともある。

今まで普通のこととして、やっていたことを通して、地球温暖化、世界紛争の影響を受けている。世界の変化、世界の危機を強く感じている。いやな世界になった。

そして、保育の世界も、AI とどう付き合うかということもおきてくるだろう。

日毎の糧

聖書：主よ、あなたの裁きを望みます。わたしは完全な道を歩いてきました。

あなたに信頼して、よろめいたことはありません。

詩篇 26：1



ルターの言葉から

キリスト教の本質は、この二つのまとまりのなかに存在する。すなわち、信仰と愛のなかに。（『四旬節説教集』1527年）

（「ルターの言葉 信仰と思索のために」 W.シュパルン編 湯川郁子訳 教文館）

こんな信仰生活をいきれません。しかし、羨ましい

詩篇 26 篇の表題に「ダビデの詩」とあります。「主よ、あなたの裁きを望みます。わたしは完全な道を歩いてきました。あなたに信頼して、よろめいたことはありません。」とありますが、ダビデの生涯、サムエル記を読んでいるとダビデは罪を多く犯しています。新約聖書のマタイによる福音書のイエスさまの系図に「ダビデはウリアの妻によってソロモンをもうけ」とわざわざ書かれています。将軍ウリアの妻を横取りし、卑怯な手段で真面目なウリアを死の最前線に送り、死に至らしめます。誰が「主よ、あなたの裁きを望みます。わたしは完全な道を歩いてきました。」といけしやしゃと言えるのでしょうか。なぜ、後の人が 26 篇を「ダビデの詩」と表題につけたのでしょうか。ダビデがしたことを知らなかったのでしょうか。それとも目をつぶったのでしょうか。

9 節に『罪』について語り、罪を取り上げないでくださいと願います。罪の自覚です。そして、「わたしは完全な道を歩きます。」と決意を示します。そして、「私を憐れみ、贖ってください。」と神に求めます。罪の自分の自覚と神の憐れみと赦しを求めた詩人の姿はダビデの姿であり。また、私たちの姿となつてほしいという詩がダビデの詩となつたのでしょうか。完全に生きられず、完全に生きられる人を羨むことこそ大切である。

祈り：主よ、自分の罪を自覚し、憐れみと赦し求めていますように。

アーメン。

甘木通信

悩みは笑いにまさる。

顔が曇るにつれて心は安らぐ。伝道の書7章

「この歳になって」



イスラエル4000年の歴史は、まさに悩みの歴史である。悩み深い歴史であった。悩み深い歴史を通して、「悩みは笑いにまさる。」という結論に達した。悩みがあるたびにイスラエルは民族して成長していった。

悩みを通して、人生を斜めに見ながら、意味深長で、ウィットに富んだユダヤジョークというものが生まれて来た。

今週、73歳になる。73年間、できれば悩みがない方が人生はどんなに良く、楽になるだろうか思って生きて来た。誰でもこう思わないだろうか。どう悩みを解消していくかと言うことに必死になって生きて来た私としては、どうしても悩みは笑いにまさるということに賛同でるだろうか。

しかし、昨年、一時、死が見えて来た病気をして、今あるとき、病気からくる悩みを負いつつ、その悩みが自分の生き方をこの歳になって変えていったよう思うようになった。悩みにあってこそ、次へのステップへと導かれると73歳になって実感できるようになった。遅すぎるかもしれない。「悩みは笑いにまさる。」ということを実感できるのはやっとこの歳になって少し分かってきたように思う。今も悩みはつきない。顔を曇らすことが多い。そして、次のステップは悩みを通して、人生を見ながら、意味深長で、ウィットに富んだジョークを語れる人となることだと思いうようになっていく。

(甘木日記)土) 羽田空港、急の雷雨で飛行機が飛ばず。夜、遅く帰宅後、明日のこともあるので夜中に甘木教会へ。日) いつものように掃除、水遣り、礼拝、茶話会。今日は役員会。月) 一番の飛行機で東京に。研修と会議。火) 大病されて病院を移ったTさんを訪問。次男が一週間前に訪問したと聞く。水) 訪問しようとした方が都合で出来ず、キリスト教書店教文館に行く。若松英輔の「イエス伝」を購入。福岡空港、雷雨で今日も帰宅が遅くなる。木) 午前中、松崎保育園で聖書の学び、礼拝、午後、甘木教会に水撒き、そして日善幼稚園。金) 卒園生、保護者と落語会へ。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。
はぐちらない聖人（牧師）もいますが。

土）飛行機に搭乗しようとしたとき集中豪雨のために羽田空港が使えなくなり、2 時間半の遅れで羽田を立つ。その間、飛行機が運休になった時を考え代議員と打ち合わせ。そのとき役に立つのがインターネットである。

「もしも」が回避され、暑い、晴天の 8 時 50 分に福岡空港、21 時のバスに乗れて久留米、少し休んで、甘木へ行き、水撒き。うん！濡れている。園庭に車の轍。雨が降ったようだ。金曜日に雨が強く降ったと聞く。確実にスクールが起きる亜熱帯に変わりつつある日本。主日の準備。

日）いつものような朝の日課。礼拝、みんなでそうめんを食べる。役員会。帰りに公営温泉に行き今日は無事に終了。月）5：15 の一番バスで福岡空港に。会議が遅くなるのを予想されるので羽田空

港から直接、泊めていただく家にお土産を届け、羽村幼稚園に。運営のための会議、後に「ハラスメントの研修会」、昭和を生きて来た人間にとって、毎度、生きづらさを感じるが、自分が変わらなければ何事も始まらないと思う。残りの議題。その途中に日善幼稚園の様子を聞く。議事録を作る。火）朝、起きて議事録の確認。それをメールで園に発信。日が弱くなり西大島入院中の方のお見舞い。元気になられてきて安心。西大島の団地を見た時、そういえばここに来たことがある。そうだ、インドから S 社に就職したインドネシアの N さん家族が住んでいたはずだ。今はどうしているのか。国技館行のバスを見る。T さんが住まわれているが行くには申し訳ないので電話でご挨拶をする。夕食は久しぶりに神田・やぶそばで。万世橋から見る夕焼けは癒し。水）Zoom 礼拝の出席されている方を訪問しようとしたがご都合で出来なかった。教文館に寄り、必要な物は購入したが、本は地方のキリスト教書店を守るためにも買わず、帰って注文しようと思う。夜に帰宅。木）松崎保育園の聖書の学び、子ども礼拝を終えて、水撒きをしに甘木教会へ。主任が午後からおらず、急いで日善幼稚園へ。いろいろと処理しつつ、羽村幼稚園の Zoom 会議。「園だより」、「お知らせ」を英語、タガログ語にしていると気づくと 21 時を回っている。遅くなることを伝えようとする



携帯電話を車の中に置いていたと思うが、その真偽に自信がない。急いで帰り、車の中を見るとあった、あった。こんなことが多くなった。金）幼稚園の仕事も終わり、卒園生とその保護者と落語会に行く。その前に「ビールでも」と誘われて幼稚園の通りの角にある店で一杯。そして四方山話、これも楽しい。落語も聞き、今、幼稚園の職員室で「風のように」を書いている。